



# 愛郷塾の實地檢證

1933

【東京九月十六日聯合】五  
 一五事件民間側公判開廷

を前にして神垣裁判長、八木田、長野兩陪席判事、堀田、向井兩書記、木内、石井兩檢事、田中書記及び在京茨城法曹團の關係辯護士十四名は九月十六日午前九時半から一時間半に亘つて水戸市常盤野愛郷塾の實地檢證を行ひ、橘塾頭の兄橘鐵太郎、同徳次郎兩名が塾の各部屋、農園牧場・動力農具作業室に亘つて案内し徳次郎氏が橘塾頭の農業經營の根本精神に付いて雄辯に説明し終はつて教室で塾で出來た甘薯、梨、牛乳等を塾生がサーブイスした、同日午後は血盟團事件の本據となつた大洗の護國堂の檢證を行ひ十七日は土浦町の紫山塾山水閣を檢證した。寫眞は實地檢證の一行（×印神垣裁判長△印徳次郎氏）

三  
 3  
 4  
 ん  
 五  
 一  
 五  
 事件  
 民間  
 側  
 公判  
 開廷

SEP 28 1933

WR 225.010